



2019 年度国内奨学生報告会（WEB 開催）

「新型コロナ禍での勉学・研究と進路～2019 年度国内奨学生の視点から～」

2021 年 9 月 12 日（13:00～15:00）東京支部、社会福祉委員会、国内奨学委員会共催、東京支部講演会枠で開催され、67 名参加登録、当日参加 63 名（半数は東京支部以外）でした。

開催の経緯

国内奨学生には、例年、奨学金贈呈 1 年 2 か月後の 3 月に研究報告書を提出載っています。2019 年度国内奨学生は 2020 年度末の 2021 年 3 月に研究報告書を戴きました。そこには研究報告に加え、新型コロナ感染症による大学や図書館の閉鎖、さまざまな困難を乗り越え、たくましく生きた奨学生の学生生活、さらに新たな進路を切り開いて大学から巣立った奨学生の姿が記載されていました。

新型コロナ禍で対面での出会いが制限された中、WEB であればこれら奨学生の声を大学女性協会の会員の皆様にシェアして戴けると考えました。奨学生で大学で教員としてご活躍中のお二人のコロナ禍での研究、学生指導に関するコメントも戴き、さらに大学女性協会として初めての「ユニバーサル WEB 会議」として手話通訳の入る報告会となりました。

開催に当たっては、発表して下さった奨学生の皆さん、お忙しい中、教員であるからこそそのコロナ禍での苦労をご紹介戴いき、コメントを戴いた先生方に加え、手話通訳者の手配にご尽力戴きました加納会長、川森雅仁先生、手話通訳者の小松智美様、瀬戸口裕子様感謝いたします。

準備および当日の運営に尽力された東京支部講演会・見学会担当の皆様、関係者の皆様にも感謝いたします。

開催概要

概要につきましては[プログラム](#)にお示しいたします。(PDF ファイルクリックください)

事後アンケートの自由記載 (抜粋)

- ✓ 視覚障害のお二人の意欲と行動力に勇気づけられました。
- ✓ コロナ禍での学生と教員のそれぞれの目線からの葛藤、努力、工夫、決意が聴けてとても良かった。
- ✓ 感銘深く、学ばせていただきました。具体的に説明されたので状況把握・理解を深めることにつながりました。学生にとっては、コメンテーターの発表を通じて、自分の将来を見据えて学ぶことに役だったでしょうし、個人的には会員としてできること、なすべきことを考える機会にもなりました。
- ✓ 素晴らしかったです。国内奨学生、社会福祉奨学生、研究者と多様性に富んだ人々がコロナ下で奮闘された記録に感激しました。。
- ✓ 今まででは贈呈式でスピーチを聞くだけで、以後の奨学生の動向があまり分からなかったが、今回の報告会でその後の活躍が分かり、あらためて奨学事業の意義を確認できた。現在学生のかた、昔学生だったかた、どの方もコロナ禍の中で大変なご苦勞をされたことがよくわかりました。すばらしいことに苦勞の中で大いに工夫をされ、研究活動を継続され、立派なキャリアを積み重ねていらっしゃることに感動いたしました。発表者の選択もとても良かったと思います。
- ✓ 多様性を尊重する内容にとっても感銘を受けました。
- ✓ 視覚障害者にとって、Zoom が必ずしも便利なツールでないことがわかったのは、収穫でした。
- ✓ 全ての発言内容がそれなりに聴きごたえあるものであったと思うが、特に社会福祉奨学生のお二人の発言は、改めて奨学金の意義を感じさせ、この奨学金事業が継続できていることを有難く思った。例年のような報告者自身の研究発表にとどまらず、むしろ現在、また将来に向けた取り組みや姿勢などを明確に知ることができてよかった。
- ✓ 画面をピンで止めておらず、パワポを全面に出していたので、手話通訳を見ることができませんでした。ただ、現在は同時に文字化する UD トークなどの無料ソフトもありますので、それをお使いになるのも手かと思います。
- ✓ このような手話通訳を導入されたことはよかった。今後もぜひお願いしたい。
- ✓ 手話通訳の同時通訳を生で(?)初めて体験し、まるで聴覚障害の方がお話になっているようで、驚くとともに専門家の力に敬服しました。

雑感および今後の課題

- ✓ 障害者用の補助ツールについて指摘・提案されていたこと (ピン止め、UD トーク) が、ユニバーサル WEB 会議開催時の今後の課題だと思いました。

- ✓ PPの画面共有が全面になっていたため、手話通訳者の画像が一般の参加者に見えなかったのですが、ピン止めされていると思っており、手話通訳者と聴覚障害者が相互に分かっていたら良いと思いました。また、UDトークなどについても知識を蓄積する必要があると思いました。
- ✓ コロナ禍でなければ、WEB開催等思いつきませんでした。報告書は一部の関係者のみでとどまっていたため、選抜された奨学生の動静に参加して下さった会員の皆様にご紹介できたことは良かったと思います。

社会福祉委員会委員長 遠藤理枝

国内奨学委員会委員長 田中紀子